

# あかちゃんに おすすめしたい絵本

— 0歳から —

せいかつ・  
ちしき絵本



## くつついた

三浦 太郎/絵  
こぐま社

丸みを帯びた、やさしい絵で描かれています。金魚、あひるなどの動物が「くつついた」ということばの繰り返し楽しい絵本です。最後にお母さんとわたしがくつつき、そしてお父さんともくつつきます。親子で絵本を読んで、スキンシップにお顔をくつつけて遊んでみてください。

## くだもの

平山 和子/絵  
福音館書店

写真のように鮮やかで、見開きいっぱい描かれたまるごとのくだものが出てきます。となりのページには切ったくだものがスプーンやフォークを添えて「さあどうぞ。」

子どもたちが自分に差し出されたような気分になる絵本。本物かと思わせるほど丁寧に描かれています。

思わず手をだして、「いただきます」本当においしそうなくだものばかりです。「どうぞ、めしあがれ。」

## 赤ちゃんにおくる絵本

とだ こうしろう/作・絵  
のろさかん(詩)戸田デザイン研究所

動物の名前を覚えることができるシンプルな絵本。また、物と名前が一致しないお子さんに読んであげてほしい絵本です。

かわいい絵で紹介されているので、お母さんオリジナルの楽しい読み方で、覚えるスピードも速くなりそうです。

## ばいばい

まつい のりこ/絵  
偕成社

次々と動物ができて「こんにちは」そして「さよなら」をします。

赤ちゃんがバイバイの仕草ができるようになると、絵本に手を振って楽しんでくれます。赤ちゃんが好きな繰り返し絵本です。

赤ちゃんと  
あそぶ絵本

## おててがでたよ

林 明子/絵  
福音館書店

大きなシャツから、おててがでたよ。あたまはどこかな?一生懸命、手や足を出している赤ちゃんがかわいい絵本です。



## ここよここよ

神沢 利子/作 藪内 正幸/絵  
福音館書店

「どこにいるの?」「ここよ ここよ」のリズムで繰り返される動物絵本。おかあさんと赤ちゃんのやさしい言葉のやり取りで、動物の赤ちゃんと一緒に見つけることができます。

「どこにいるの?」の場面でちいさな赤ちゃんの体の一部がでているので、ちょっと大きなお子さんには探しながら読んであげると楽しいでしょう。



絵本に  
なれてきたら

## どんどこももんちゃん

とよた かずひこ/絵  
童心社

「どんどこどんどこ」ももんちゃんが急いでいます。川にかかった橋を越え、急な斜面の山を登り、くまさんに通せんぼされても「どんどこどんどこ」。声に出して読むことで楽しさのわかる絵本です。がんばってどんどこ進むももんちゃんの目的地に思わず笑顔になります。

## おかあさんだ

まつい のりこ/絵  
偕成社

「えーんえーん」「おかあさんだ」の繰り返し絵本です。赤ちゃんは、お母さんとおなかの中では一体。

生まれてからはおっぱいを飲ませてもらうたり、いつもお世話をしてもらいます。「おかあさん」という言葉は赤ちゃんにとって、とてもやさしく温もりのあるものにちがいありません。

「おかあさんだ」というのは、楽しくだっこを繰り返しスキンシップができる一冊です。

## かおかおどんなかお

柳原 良平/絵  
こぐま社

赤ちゃんと一緒に「かおがふたつ」「はなはひとつ」とお顔をさわりながら、優しい声で語りかけてください。「たのしいかお」「かなしいかお」「わらったかお」「ないたかお」いろんな形、いろんな表情の顔がたくさんできます。赤ちゃんは正面から見た顔に興味を持ちます。

## くっくくく

長谷川 摂子/作 小川 忠博/写真  
福音館書店

## 赤ちゃんのための色のえほん

桑原 伸之/絵 あすなろ書房

## もう おきるかな?

まつの まさこ/作 藪内 正幸/絵  
福音館書店

## にこちゃん

南 控控/絵 アリス館

## おててばちばち

あまん きみこ/作 上野 紀子/絵  
ポプラ社

